

おーいと呼んでください。いつでも、どこへでも、スグに駆けつけます!!

# 神戸市会 NEWS VOL.53

2014.春号

民主党神戸市会議員団

■編集・発行:民主党神戸市会議員団

〒657-8570 神戸市中央区加納町6丁目5番1号

TEL(078)322-5844 FAX(078)322-6161

ホームページ <http://www.kobe-minshu.jp>

安心・安全、住みよい須磨の街づくりに全力投球!

須磨区のために真剣です。  
神戸市会議員(須磨区)

投球  
全力

## 大井としひろ

予算特別委員会 こども家庭局で代表質疑を行いました。

須磨区の皆様、いつもお世話になります。如何お過ごしでしょうか。  
今年の桜は例年になく早い開花となり、春が一気にやってきたというところでしょうか。  
さて神戸市会は、2月19日から平成26年度予算定例市会が開会し、3月28日に閉会しました。  
予算特別委員会では、こども家庭局で、会派を代表して、質疑を行いました。(以下、質疑の一部を抜粋)

### 保育所待機児童の解消と子ども・子育て支援新制度について

#### Q 大井議員

26年度の予算案では、保育所整備で940人、小規模保育事業で450人の拡充により、1,390人の保育枠を確保予定であり、27年4月までに新たに2,600人分の保育枠を設け、28年度・29年度で保育枠を確保することだが、この目標は達成可能なのかどうか伺いたい。もう少し前倒しで達成可能かどうかの見解も伺いたい。

また、保育士の確保も必要と考えるが、どのような対策を講じるのか伺いたい。

#### Q 再質問

あと2年しかないので、このあたりは十分に対応を確実に進めていただかないと伺いたい。

前期の文教こども委員会で視察した江戸川区のすぐそくスクールでは、小学生全員が対象で、子どもたちは学校の運動場で思い切り遊び、教室ではボランティアの母親らといろいろなことをして遊んでいた。神戸で言うところの神戸っ子のびのびひろばの対象児童は17時で帰り、その先は学童保育が一体となった仕組みで運営されている。子どもたちの目が輝き、いきいきしていたのが忘れられない。先生方の話によれば、学校の成績も江戸川区の生徒は東京都内でも優秀であると聞いた。やはり子どもは「よく学び、よく遊び」だと思う。こういう仕組みを神戸市でも広く取り入れるべきだと考えるが、見解を伺いたい。



#### A 大下局長

江戸川区のすぐそくスクールについて、内容は承知している。

先ほど委員からご指摘のあった神戸っ子のびのびひろばは、もともと教育委員会が行っていた事業である。放課後に学校で子どもたちを遊ばせ、地域の方が学校に来られて学校開放事業のひとつとして取り組んでいた。19年度から始まったが、地域の人材がいないなどの問題があり、なかなか広がらなかった。一方、学童保育は過密や大規模という問題があり、対象児童が増えしていくので実施場所が必要であった。そこで学校を使って、学童保育ものびのびひろばも一緒にできるようなモデル事業を開始している。私どもとしては、小学校を活用して全ての児童のための放課後の居場所づくりができ、学童の子どもにとっては家と同じような居場所が、それ以外の子どもにとっては運動場も使って友達と一緒に遊べるといった意義のある事業だと思っている。

学校内で学童保育とそれ以外の子どもがいっしょになって過ごす一体型モデル事業は西舞子小学校等で実施し、おむね好評である。

地域のどのような方にボランティアで入っていただくのか、また、学校の状況がバラバラで、調整事項が多く、モデル実施校の拡大には時間を要している。学校現場の先生方にも事業の意義を理解していただかなければなかなか広がっていない。教育委員会、学校現場に理解をしてもらうために、モデル事業での実践例を示しながら取り組みを進めていかたい。江戸川区とは少しやり方は違うが、学校内で一体的にやっていきたいと考えている。



#### Q 再質問

#### Q 大井議員

子どもが小学生になると、女性が仕事を続けられなくなる「小1の壁」という問題がある。

現在、保育所を増やし待機児童を減らす努力をしているが、次に来るこの「小1の壁」問題を十分にクリアできるように検討されているのかどうか伺いたい。

#### A 大下局長

世間で言われている「小1の壁」とは、委員ご指摘のとおり、主に共働きの家庭等において、子どもが学齢前は保育所に預けて延長保育もあるのに、小学校に入ると学校が早く終わって子どもの居場所がなくなってしまったり、学校関係の平日の行事が増えたり、企業の問題ではあるが小学生以降に育児短時間勤務制度が利用できる企業が少ないとなど、神戸市においてはっきりとした数字を持っているわけではないが、仕事を辞めざるを得ない方もいらっしゃると思われる。

そのため、いろいろな手立てが必要だと考えている。学童保育についてはボリュームや何時まで預かるかということも含めて大きな課題があると思っている。

#### Q 大井としひろの施政方針

- 若い世代を呼び込み須磨区の高齢化、空洞化に歯止めを!
- 働く仲間の声を神戸市政へ
- 「公平・公正な社会」の実現を目指します!
- 神戸のまちの景気回復・雇用創出が最優先課題
- 保育所の待機児童特別養護老人ホームの待機者ゼロをめざします!

